

生活や生業を支える漁港周辺の構成要素に関する 保存管理・整備の体制

1. 研究の背景と目的

●背景

文化財保護法改正以降、全国で重要文化的景観の保護が行われてきた

→ 景観構成要素の保存管理や整備の方法を定める必要がある

大分県国東半島北東部に位置する姫島村では、島独自の景観を重要文化的景観として保護しようとしている

一方で

景観構成要素の保存管理・整備の方法・体制について明らかにされていない

●目的

重要文化的景観を構成する **重要な景観構成要素の候補**
の保存管理や整備の方法と体制の現状を明らかにする。

- 大分大学福祉環境工学科建築コース
- 建築・都市計画研究室4年 藤田晃亘

2. 調査対象となる重要な景観構成要素の候補の特定

姫島村の基幹産業は漁業であり、漁業に関係する要素は生業を支える上で重要

(林ら(*1)の既往研究より)

「生活や生業に関わる50件の重要な景観構成要素の候補のうち、漁業に関係する要素」

(安藤ら(*2)の既往研究より)

生活生業を支える社会共通資本が1970～90年代の基盤整備事業以前から存在する漁港周辺は、生活や生業を支える重要な空間

「漁港周辺に基盤整備事業以前から存在し、生活生業の機能を支える社会共通資本」

調査対象

【漁具倉庫】 【漁業作業所】 【見張り小屋】 【公民館】 【盆坪】 【恵比須社】

(※1) 林孝茂, 姫野由香, 大分県姫島村における生活・生業に関わる重要な景観構成要素の特定, 日本建築学会研究報告九州支部第56回(長崎), 2017, 3月

(※2) 安藤万葉, 姫野由香, 集落構造の変容にみるサステナブルコミュニティの理想に関する基礎的研究 -大分県姫島村北浦地区におけるケーススタディ-, 日本建築学会研究報告九州支部第56回(長崎), 2017, 3月

3-1. 各地区の調査対象について

【公民館】 【盆坪】 【恵比須社】



【公民館】

- ・ 住民の寄り合い所
- ・ 祭事や宴会で利用

【盆坪】

- ・ 日々のレクリエーションの場
- ・ 盆踊りや船曳祭りで利用

【恵比須社】

恵比須祭りの際に漁師が参拝

3-2. 各地区の調査対象について、また、漁業施設機能の統合

【漁具倉庫】 【漁業作業所】 【見張り小屋】



【漁具倉庫】
漁具の収納に利用



【漁業作業所】 **【見張り小屋】**
漁具の手入れを行う **+** 漁師の寄り合い場所
= 集会所

調査対象		地区名						
		西浦	北浦	南浦	松原	大海	金	稲積
漁業施設	漁具倉庫	○	○	○	○	○	○	○
	漁業作業所	漁具倉庫	○	○	作業所	漁具倉庫	—	○
	見張り小屋(漁師小屋)	○	○	集会所	○	○	○(*)	○
			災害時の消防団待機所	宴会場			物置	バス停
公民館		○	○	○	○	○	バス待合室 災害時の消防団待機所	○
盆坪		○	○	○	○	○	○	○
恵比須社		○	○	○	○	○	○	○

施設が存在する (○), 施設が存在しない (—), 各地区での施設の呼び名 (太字)
統合されている施設枠 **■**, 使われていない (*)

施設の統合により、1つの施設で複数の漁業施設機能を持つ

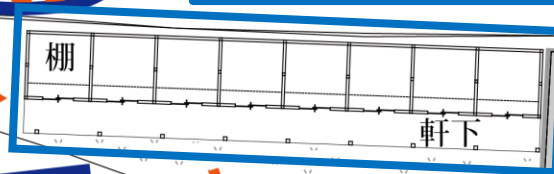
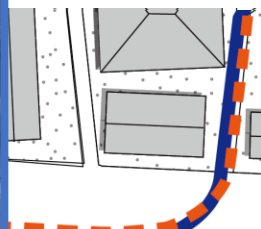
漁業施設には、漁業以外においても利用される施設が存在

地区それぞれにある**漁業施設の機能**を可能な限り重複させ、**施設整備している**

4. 調査対象に関する施設（要素）の利用実態①

【漁具倉庫】

- ・ 間仕切壁により仕切られ、各部屋ごとに漁師個人で利用
- ・ 倉庫内上部の棚にも漁具を収納
- ・ 軒下で漁具修理等作業



台所

公民館

和室 台所

広間

広作

広間・作業場

【集会所】

- ・ 広間・作業場は漁具修理等の作業や宴会場として利用
- ・ 宴会で利用する台所が設けられている

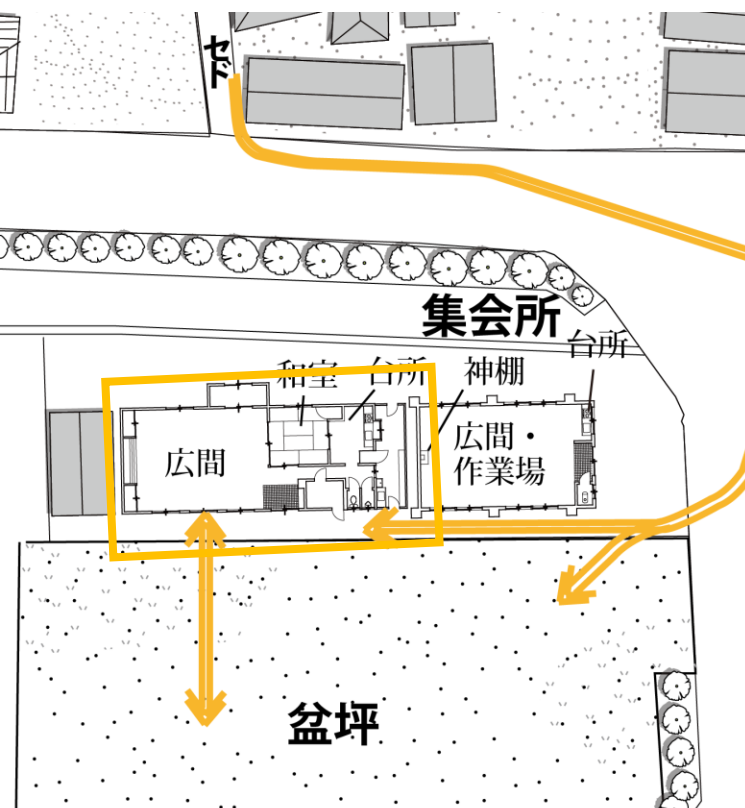
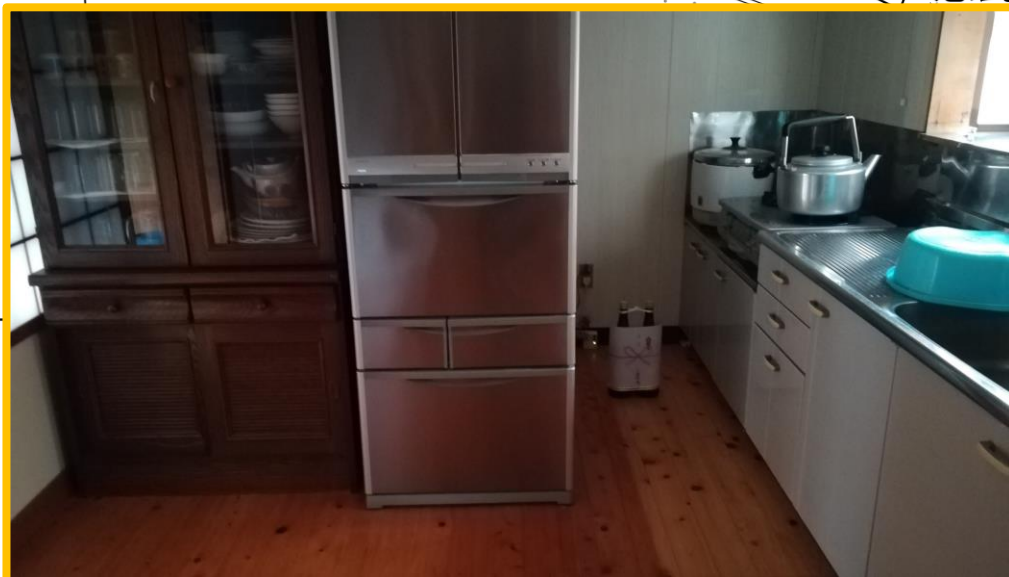


4. 調査対象に関する施設（要素）の利用実態②

広間



台所



【公民館】

- ・ 広間は祭事の際の宴会場等で利用
- ・ 祭事で利用する台所が設けられている

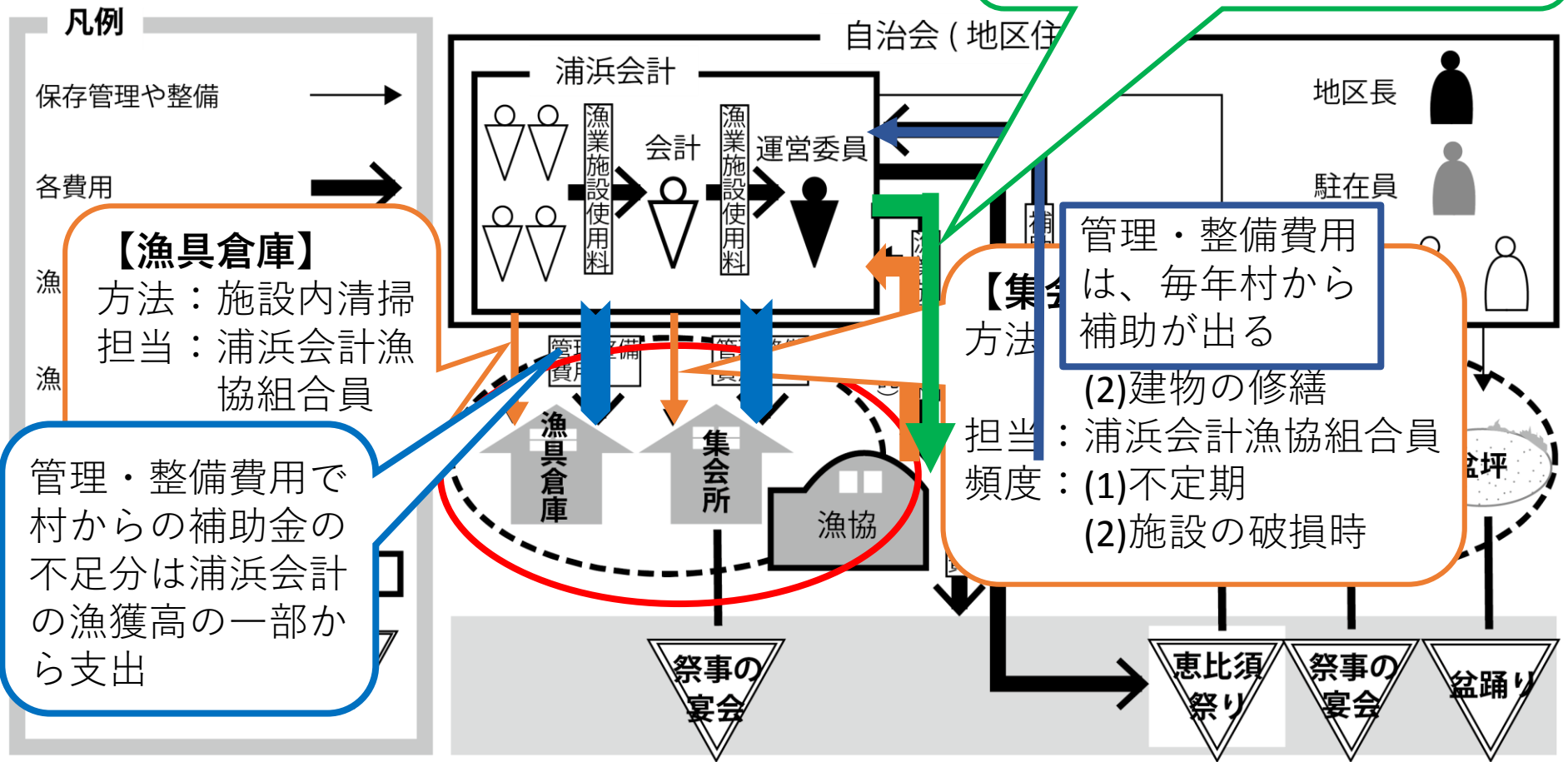
恵比須社

海

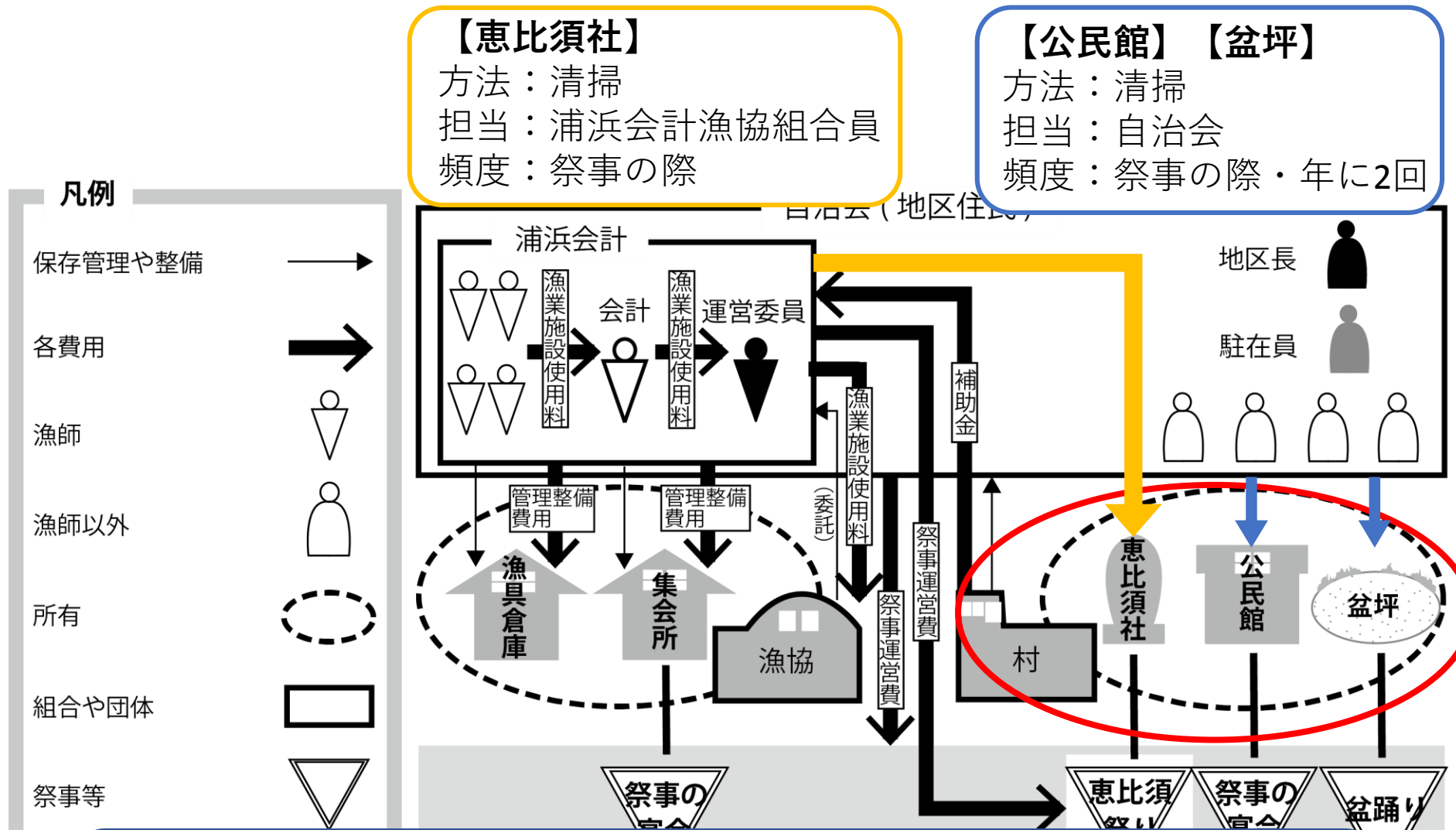
5-1. 調査対象の管理や整備 (1)

浦浜会計：地区ごとの漁師全員で構成された組合（浦浜組合）

組合員1人につき漁獲高の5.5%を浦浜会計が徴収し、漁業施設の使用料として漁協に納める



5-1. 調査対象の管理や整備 (2)



調査対象の管理や整備を行う主体

- 漁業を支える要素の管理や整備は浦浜会計
- 生活を支える要素の管理や整備は地区住民

5-2. 調査対象の管理や整備の課題

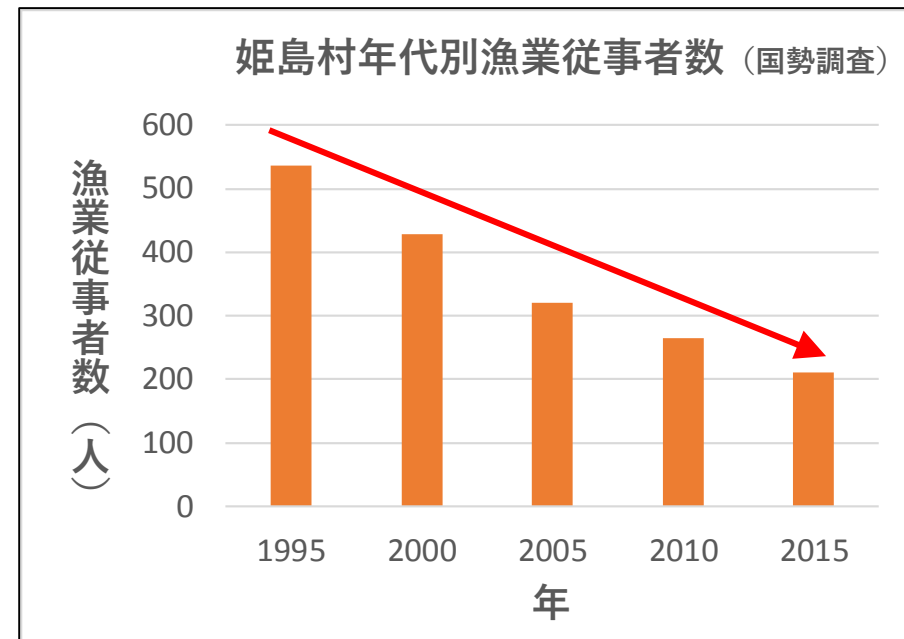
ここまでのことから.....

浦浜会計の漁協組合員（漁師）は地区住民でもあり、漁業施設以外の管理や整備も行うことから、漁師の管理や整備負担が大きい

漁師が年々減少

⇒ 管理や整備とその費用を負担する担い手減少

⇒ 漁師1人あたりの費用負担や管理行為の負担増大



これまでと同じ体制や方法では、**管理や整備の現状の体制を継続することは困難**

6. 総括

3・4章から……

地域の主な生活や生業を支える施設の**機能の統合や重複**がなされ、それらを含め、調査対象は全て漁港周辺に立地



漁港周辺での、漁師や地区住民の施設等の利用における**日常的な活動の一連の流れの関係性**が確認された

基盤整備事業での施設等の移動による利用者動線の変化を配慮して、今後は**施設等の立地場所を検討する必要がある**と考えられる



5章を踏まえ……

漁師は管理や整備の負担が大きいことから、**機能の重複が確認された施設やその一部の統廃合**により、管理や整備負担の低減につながると考えられる